

# 平成 23 年度(2011)事業報告書

〔 自 平成 23 年(2011) 4 月 1 日  
至 平成 24 年(2012) 3 月 31 日 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する。」ことを目的として、昭和 59 年(1984)4 月 12 日に設立された。

昭和 60 年(1985)に第 1 回京都賞授賞式、第 1 回研究助成金贈呈式を開催し、事業を開始した。また、平成 23 年(2011)4 月 1 日に公益財団法人の認定を受け、新公益法人制度に基づいた運営を開始した。

## 平成 23 年度(2011)事業計画 重点施策

### I. 新公益法人制度に対する対応

1. 公益財団法人稲盛財団としての事業を新たに開始する。

### II. 顕彰事業

1. 第 27 回(2011)京都賞受賞者を決定し、授賞式及び関連行事を開催する。
2. 第 28 回(2012)京都賞に向け、候補者推薦の受付及び審査選考を開始する。
3. 第 29 回(2013)京都賞に向け、審査機関委員を決定する。

### III. 助成事業

1. 平成 23 年度研究助成として、研究助成金贈呈式を開催する。
2. 平成 24 年度研究助成に向け、申請書の受付及び選考を行い、助成対象者を決定する。
3. 平成 25 年度研究助成に向け、選考委員を決定する。
4. 平成 23 年度特別助成として、研究機関の事業援助及び国際相互理解増進のため、助成対象案件について審査及び助成を行う。
5. 平成 24 年度特別助成に向け、審査委員を決定する。

### IV. 社会啓発事業

1. イナモリフェローに対し、研修等を実施する。
2. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動を支援する。
3. 国際相互理解の増進及び学術振興に寄与する活動を行う。

## I. 新公益法人制度に対する対応

平成 23 年 3 月 23 日付で菅直人前内閣総理大臣より公益財団法人として認定を受け、平成 23 年 4 月 1 日付で移行登記を行った。これにより、同日より公益財団法人稲盛財団としての事業を新たに開始した。

## II. 顕彰事業

### 1. 第 26 回(2010) 京都賞に関する事項

#### (1) 米国での関連行事

##### ①「2011 年京都賞シンポジウム」の開催協力

開催日：平成 23 年 4 月 4 日（月）～6 日（水）

場所：カリフォルニア州サンディエゴ市

主催：京都賞シンポジウム組織

共催：サンディエゴ州立大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、  
サンディエゴ大学、稲盛財団

出席者数：1,800 名

内容：第 26 回(2010)京都賞受賞者による講演会、慈善晚餐会の開催に協力した。

##### ②山中伸弥博士講演会への協賛

開催日：平成 23 年 6 月 9 日（木）

場所：米国マサチューセッツ州ボストン市

主催：ボストン日本協会

共催：稲盛財団

出席者数：180 名

内容：ボストンでの山中博士（先端技術部門受賞者）の講演会の開催に協力した。山中博士の講演の前には、稲盛財団紹介ビデオが放映された。

### 2. 第 27 回(2011)京都賞受賞者の決定と発表

#### (1) 京都賞審査機関による審査

国内、海外の有識者より推薦された候補者について、平成 22 年度に開催された各部門専門委員会及び審査委員会に引き続き、京都賞委員会を開催し、受賞候補者の審査を行った。

#### (2) 受賞者の決定と発表

平成 23 年 6 月 24 日開催の定時理事会において、第 27 回(2011)京都受賞者を下記の 3 氏に決定し、同日記者会見を行なって発表した。

##### ①先端技術部門受賞者

ジョン・ワーナー・カーン博士 (Dr. John Werner Cahn)

職業：材料科学者

米国国立標準技術研究所 名誉上級研究員

ワシントン大学 客員教授

国 籍：アメリカ

贈賞理由：

「スピノーダル分解理論の構築によるアロイ材料工学への多大な貢献」  
アロイ材料内で起きるスピノーダル分解の研究に取り組み、系の自由エネルギーに歪みエネルギーの項を取り入れた理論を確立し、アロイ材料の機能を最大限に引き出す最適な微細構造の予測を可能にした。この理論によって、アロイ材料開発の設計指針が確立され、材料科学の進展のみならず、素材産業への発展にも大きく貢献した。

## ②基礎科学部門受賞者

ラシッド・アリエヴィッチ・スニヤエフ博士 (Dr. Rashid Alievich Sunyaev)

職 業：宇宙物理学者

マックス・プランク宇宙物理学研究所 所長

ロシア科学アカデミー 宇宙科学研究所 チーフサイエンティスト

国 籍：ロシア・ドイツ

贈賞理由：

「膨張宇宙を探索する宇宙背景放射揺らぎ理論の提出と高エネルギー天文学への多大な貢献」  
宇宙背景放射の温度揺らぎに刻印された初期宇宙の音波振動や宇宙背景放射の銀河団中の熱い電子ガスによる散乱の理論的研究によって、現代の観測的宇宙論へ大きな影響を与えると同時に、高密度天体への物質降着とエネルギー放出機構の理論的研究や国際的観測プロジェクトの主導により高エネルギー天文学へも多大な貢献をしている。

## ③思想・芸術部門受賞者

五代目 坂東 玉三郎 丈 (Tamasaburo Bando V)

職 業：歌舞伎俳優

国 籍：日本

贈賞理由：

「歌舞伎を中心に舞台芸術の諸ジャンルの枠を越えて活躍する華麗な美の創造者」  
歌舞伎の女形としてそれまでにない独特な世界を展開し、梨園の生まれではないにもかかわらず、立女形(たておやま)の地位を確立すると同時に、演劇・舞踊の分野の枠を越えた多彩な活動を国内外で繰り広げ、高い芸術的水準で多くの観客を魅了し続けている。

## (3) 京都賞審査機関委員の公表

受賞者の発表に併せて、第 27 回(2011)京都賞審査機関委員を下記の通り公表した。

(役職は公表時現在)

[京都賞委員会]

中西 重忠 (委員長) (財)大阪バイオサイエンス研究所 所長

甘利 俊一 理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問

巖佐 庸	九州大学 大学院理学研究院 教授
梶山 千里	福岡女子大学 理事長・学長
榊 裕之	豊田工業大学 学長
佐藤 文隆	京都大学 名誉教授
末松 安晴	東京工業大学 名誉教授
仙元 隆一郎	工業所有権法研究所 理事長
高階 秀爾	大原美術館 館長
野依 良治	理化学研究所 理事長
広中 平祐	京都大学 名誉教授
本庶 佑	内閣府総合科学技術会議 議員
鷺田 清一	大阪大学 総長

#### [審査委員会]

##### ①先端技術部門

梶山 千里 (委員長)	福岡女子大学 理事長・学長
北澤 宏一	科学技術振興機構 理事長
君塚 信夫	九州大学 大学院工学研究院 主幹教授
五神 真	東京大学 大学院理学系研究科 教授
平野 眞一	大学評価・学位授与機構 機構長
前田 瑞夫	理化学研究所 基幹研究所 主任研究員
村上 正紀	学校法人立命館 副総長
横山 直樹	(株)富士通研究所 フェロー

##### ②基礎科学部門

佐藤 文隆 (委員長)	京都大学 名誉教授
海部 宣男	放送大学 教授
上出 洋介	名古屋大学 名誉教授
小山 勝二	京都大学 名誉教授
佐藤 勝彦	自然科学研究機構 機構長
鳥海 光弘	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任教授
松井 孝典	千葉工業大学 惑星探査研究センター 所長
余田 成男	京都大学 大学院理学研究科 教授

##### ③思想・芸術部門

高階 秀爾 (委員長)	大原美術館 館長
川本 三郎	文芸・映画評論家
小藤田 千栄子	映画・演劇評論家
土屋 好生	映画評論家
永井 多恵子	(社)国際演劇協会日本センター 会長
松岡 和子	翻訳家・演劇評論家
三浦 雅士	文芸・舞踊評論家
渡辺 保	演劇評論家

[専門委員会]

①先端技術部門

村上 正紀 (委員長) 学校法人立命館 副総長  
榊 裕之 豊田工業大学 学長  
高柳 邦夫 東京工業大学 大学院理工学研究科 教授  
玉尾 皓平 理化学研究所 基幹研究所 所長  
筒井 哲夫 九州大学 名誉教授  
野田 進 京都大学 大学院工学研究科 教授  
橋本 和仁 東京大学 大学院工学系研究科 教授  
前川 禎通 日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター センター長

②基礎科学部門

小山 勝二 (委員長) 京都大学 名誉教授  
佐々木 節 京都大学 基礎物理学研究所 教授  
柴田 一成 京都大学 大学院理学研究科 教授  
平 朝彦 海洋研究開発機構 理事  
永原 裕子 東京大学 大学院理学系研究科 教授  
花輪 公雄 東北大学 大学院理学研究科 教授  
福井 康雄 名古屋大学 大学院理学研究科 教授  
山形 俊男 東京大学 大学院理学系研究科 研究科長

③思想・芸術部門

永井 多恵子 (委員長) (社)国際演劇協会日本センター 会長  
岩本 憲児 日本大学 大学院芸術学研究科 教授  
植草 信和 太秦株式会社 取締役  
大笹 吉雄 演劇評論家  
佐藤 忠男 日本映画学校 校長  
長野 由紀 舞踊評論家  
西堂 行人 演劇評論家  
貫 成人 専修大学 文学部 教授

**3. 第 27 回 (2011) 京都賞授賞式及び関連行事の開催**

(1) 受賞者歓迎レセプション

日 時：平成 23 年 11 月 9 日 (水) 18:30  
場 所：京都ホテルオークラ  
主 催：京都府、京都市、稲盛財団  
貴 賓：高円宮妃久子殿下 (稲盛財団名誉総裁)  
内 容：受賞者夫妻の入洛を歓迎し、レセプションを開催した。

(2) 第 27 回 (2011) 京都賞授賞式

日 時：平成 23 年 11 月 10 日 (木) 15:00  
場 所：国立京都国際会館 大会議場  
貴 賓：高円宮妃久子殿下 (稲盛財団名誉総裁)

受賞者：ジョン・ワーナー・カーン博士(先端技術部門)  
ラシッド・アリエヴィッチ・スニヤエフ博士(基礎科学部門)  
五代目 坂東 玉三郎 丈(思想・芸術部門)

出席要人：ミハイル・M・ベールィ 駐日ロシア特命全権大使  
アレクサンダー・オルブリッヒ ドイツ連邦共和国総領事  
パトリック・J・リネハン 在大阪・神戸アメリカ総領事  
北神 圭朗 経済産業大臣政務官  
大使・総領事関係者 32 名  
国会議員関係者 10 名  
学術・文化機関の長 30 名

出席者数：1,900 名

祝 辞：ドミートリー・A・メドベージェフ ロシア連邦大統領  
バラク・H・オバマ アメリカ合衆国大統領  
クリスティアン・ヴルフ ドイツ連邦共和国大統領  
野田 佳彦 内閣総理大臣

内 容：高円宮妃久子殿下ご臨席のもと、国内及び海外から多くの招待者を迎え授賞式を開催した。式典では、井村裕夫会長から受賞者へ京都賞メダルとディプロマ、賞金 5,000 万円が贈られ、受賞者は受賞にあたってのスピーチを行なった。また、内閣総理大臣をはじめ各受賞国元首から祝辞が寄せられ、受賞者の栄誉を讃えた。

### (3) 晩餐会

日 時：平成 23 年 11 月 10 日(木) 18:15

場 所：グランドプリンスホテル京都

貴 賓：高円宮妃久子殿下(稲盛財団名誉総裁)

出席者数：811 名

内 容：授賞式に続いて、高円宮妃久子殿下ご臨席のもと晩餐会を開催し、多くの出席者が受賞者を祝福した。

### (4) 記念講演会

日 時：平成 23 年 11 月 11 日(金) 13:00

場 所：国立京都国際会館 大会議場、アネックスホール(第二会場)

出席者数：2,100 名

演 題：「新しいパラダイムを求めて」 ジョン・ワーナー・カーン博士  
「宇宙物理学・宇宙論の革命 50 年～一科学者の目を通して～」  
ラシッド・アリエヴィッチ・スニヤエフ博士  
「私の考える舞台芸術」 五代目 坂東 玉三郎 丈

内 容：受賞者が上記の演題で講演を行い、自らの仕事を通じて得た人生観や世界観を語った。また、2,000 名を越える出席者数となったため、第二会場を設けた。

後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会  
京都商工会議所、京都新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社  
日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、NHK  
KBS 京都、エフエム京都、大学コンソーシアム京都

## (5) 和輪庵夕食会

日 時：平成 23 年 11 月 11 日（金）18:30

場 所：和輪庵

内 容：受賞者と受賞者家族を囲んで、懇親夕食会を開催した。

## (6) ワークショップ

内 容：受賞者を囲んで、研究者や専門家による研究発表や討論会を行なった。  
また、思想・芸術部門シンポジウムは、出席者が 1,900 名となり、これ  
までのワークショップで最多の出席者数を記録した。

後 援：京都府、京都市、NHK

### ①先端技術部門シンポジウム「多元系材料科学・工学への社会貢献と将来像」

日 時：平成 23 年 11 月 12 日（土）13:00

場 所：国立京都国際会館

出 演 者：ジョン・ワーナー・カーン博士

梶山 千里 福岡女子大学 理事長・学長(審査委員会 委員長)

北澤 宏一 科学技術振興機構 顧問(審査委員会 委員)

岸 輝雄 物質・材料研究機構 顧問

榊 裕之 豊田工業大学 学長(専門委員会 委員)

田中 一宜 科学技術振興機構 上席フェロー

前川 禎通 日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター長  
(専門委員会 委員)

村上 正紀 学校法人立命館 副総長(専門委員会 委員長)

毛利 哲夫 北海道大学 大学院工学研究院 教授

出席者数：170 名

協 賛：応用物理学会、軽金属学会、高分子学会、日本化学会、日本金属学会、  
日本鉄鋼協会、日本物理学会

### ②基礎科学部門シンポジウム「観測的宇宙物理の進展：宇宙背景放射と X 線天文学」

日 時：平成 23 年 11 月 12 日（土）13:00

場 所：国立京都国際会館

出 演 者：ラシッド・アリエヴィッチ・スニヤエフ博士

小山 勝二 京都大学 名誉教授(専門委員会 委員長)

佐藤 勝彦 自然科学研究機構 機構長(審査委員会 委員)

佐藤 文隆 京都大学 名誉教授(審査委員会 委員長)

杉山 直 名古屋大学 大学院理学研究科 教授

田中 靖郎 マックス・プランク宇宙空間物理学研究所 客員教授

牧島 一夫 東京大学 大学院理学系研究科 教授

嶺重 慎 京都大学 大学院理学研究科 教授

ユージン・チュラゾフ マックス・プランク宇宙物理学研究所 主任研究員

出席者数：200 名

協 賛：国立天文台、日本天文学会、日本物理学会

③思想・芸術部門シンポジウム「玉三郎の美の世界」

日 時：平成 23 年 11 月 12 日（土）13:00

場 所：国立京都国際会館、アネックスホール（第二会場）

出演者：五代目 坂東 玉三郎 丈

植草 信和 元キネマ旬報編集長（専門委員会 委員）

大笹 吉雄 演劇評論家（専門委員会 委員）

長野 由紀 舞踊評論家（専門委員会 委員）

出席者数：1,900 名

協 賛：歌舞伎学会、国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター、日本演劇学会

（7）京都賞ウィーク中の関連行事

①小学生、中学生との交流

京都賞キッズ・サイエンス「宇宙のなぞにせまる！」

日 時：平成 23 年 11 月 13 日（日）14:00

場 所：京都大学 稲盛財団記念館 稲盛記念ホール

講 師：ラシッド・アリエヴィッチ・スニヤエフ博士

出席者数：小学生、中学生とその保護者 210 名

内 容：京都大学総合博物館館長 大野照文氏の「星と地球と生命の歴史」についての話に引き続き、スニヤエフ博士が講演を行った。また、当日は子供達が実際に触れる事ができる隕石の展示も行った。

②高校生との交流

京都賞高校フォーラム「宇宙の果てをみる」

日 時：平成 23 年 11 月 14 日（月）13:45

場 所：京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

講 師：ラシッド・アリエヴィッチ・スニヤエフ博士

出席者数：京都府内 9 校の高校生 520 名

内 容：スニヤエフ博士の特別授業に続き、高校生企画委員による質疑応答では活発な議論が行われた。また、その後、京都大学名誉教授 小山勝二氏が「京の宇宙学」というテーマで講演を行った。

③学生との交流

A. 京都賞学生フォーラム「こころとかたち」

日 時：平成 23 年 11 月 15 日（火）15:00

場 所：京都文化博物館 別館ホール

講 師：五代目 坂東 玉三郎 丈

出席者数：演劇に興味のある大学生、高校生など 210 名

内 容：玉三郎丈と大谷大学教授 鷲田清一氏を迎えての対談形式で行われ、歌舞伎の芸談から人生論に至るまで幅広い話題が繰り広げられた。

B. 九州大学創立百周年記念 京都賞シンポジウム

「ものづくりの科学と探究する心ー新しい合金への道」

日 時：平成 23 年 11 月 15 日（火）14:00

場 所：九州大学 稲盛財団記念館 稲盛ホール



講師：ジョン・ワーナー・カーン博士

出席者数：九州大学の学生、福岡県内の高校生など 420 名

内容：九州大学創立百周年を記念して、福岡で初となる京都賞シンポジウムを開催した。カーン博士は、自身の研究人生について語り、次代を担う学生達に激励のメッセージを贈った。

## (8) 広報

### ①テレビによる報道

NHK 及び民放各社 7 番組で、授賞式などの模様が放映された。また、NHK World の「NEWSLINE」では、坂東玉三郎丈のインタビュー映像が放映され、さらに、NHK BS プレミアムでは、「歌舞伎俳優 坂東玉三郎～京都賞受賞 未来へのメッセージ」と題した番組が全国放映された。

### ②新聞・雑誌等による報道

全国紙をはじめ通信社の取材配信や海外マスコミによる取材があり、関連記事が国内 16 紙 (33 件)、海外 6 紙に掲載された。また、京都新聞、読売新聞に京都賞受賞者の特集記事が掲載された。

## (9) 米国での関連行事

「2012 年京都賞シンポジウム」の開催協力

開催日：平成 24 年 3 月 20 日 (火) ～22 日 (木)

場所：カリフォルニア州サンディエゴ市

主催：京都賞シンポジウム組織

共催：サンディエゴ州立大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、サンディエゴ大学、ポイント・ロマ・ナザレン大学、稲盛財団

出席者数：1,850 名

内容：第 27 回京都賞受賞者による講演会及び慈善晚餐会の開催に協力した。また、今回よりポイント・ロマ・ナザレン大学が共催団体に加わった。

## 4. 第 28 回(2012)京都賞に関する事項

### (1) 京都賞審査機関委員の委嘱

平成 23 年 3 月 11 日開催の第 54 回定例理事会・評議員会において選任された第 28 回(2012)京都賞審査機関委員に対し、平成 23 年 11 月 11 日開催の第 28 回(2012)京都賞審査機関合同会議において正式に委嘱を行った。

### (2) 推薦依頼書の発送

推薦依頼書を、推薦依頼名簿に基づいて、国内、海外の有識者に対して、平成 23 年 6 月下旬に発送した。

### (3) 推薦の受付

平成 23 年 9 月 16 日をもって推薦書の受付を締め切った。

#### (4) 京都賞審査機関による審査

各部門専門委員会を計 12 回、審査委員会を計 5 回開催した。

(審査委員会 1 回と京都賞委員会については平成 24 年度に開催)

### 5. 第 29 回(2013)京都賞に関する事項

#### (1) 授賞対象分野の決定

平成 24 年 3 月 16 日開催の定時理事会において、第 29 回(2013)京都賞授賞対象分野を次の通り決定した。

先端技術部門 : エレクトロニクス

Electronics

基礎科学部門 : 生物科学(進化・行動・生態・環境)

Biological Sciences (Evolution, Behavior, Ecology, Environment)

思想・芸術部門: 音楽

Music

#### (2) 京都賞審査機関委員の決定

平成 24 年 3 月 16 日開催の定時理事会において、第 29 回(2013)京都賞審査機関委員を選任した。

## Ⅲ. 助成事業

### 1. 平成 23 年度研究助成に関する事項

#### (1) 平成 23 年度研究助成金贈呈式の開催

開催日: 平成 23 年 4 月 16 日(土) 14:00

場所: グランドプリンスホテル京都

出席者数: 140 名

内容: 平成 23 年 3 月 11 日の第 54 回定例理事会・評議員会において承認された 51 件に対し、総額 5,100 万円の贈呈を行なった。贈呈式に引き続き、第 15 回盛和スカラーズソサエティ総会が開催され、自然科学研究機構機構長 佐藤 勝彦氏に「宇宙の創生とマルチバース」というテーマでご講演いただいた。

※別表 1「平成 23 年度研究助成対象者並びに研究題目」を参照

### 2. 平成 24 年度研究助成に関する事項

#### (1) 募集要項の発送

助成金募集要項と申請書を、全国国立大学法人、公立大学(選抜)、私立大学(選抜)、大学共同利用機関法人・その他研究機関(選抜)の合計 140 大学・機関宛に平成 23 年 5 月下旬に発送し、募集した。

## (2) 応募の締切

平成 23 年 7 月 25 日をもって申請書の受付を締め切り、523 件の応募を得た。この応募に関し、各委員による予備選考を行なった。

## (3) 研究助成選考委員会による選考

平成 23 年 12 月 3 日と 12 月 10 日に研究助成選考委員会を開催し、52 件 5,200 万円の助成対象者を選考した。

## (4) 研究助成対象者の決定と発表

平成 24 年 3 月 16 日開催の定時理事会において、平成 24 年度研究助成対象者及び助成金額を決定し、3 月 19 日プレス発表を行なった。

※別表 2「平成 24 年度研究助成対象者並びに研究題目」を参照

## (5) 研究助成選考委員の公表

助成対象者の発表に併せて、平成 24 年度研究助成選考委員を下記の通り公表した。  
(役職は公表時現在)

榊 裕之 (委員長) 豊田工業大学 学長

[自然科学系]

甘利 俊一 理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問

巖佐 庸 九州大学 大学院理学研究院 教授

岡野 栄之 慶應義塾大学 医学部 教授

梶山 千里 福岡女子大学 理事長・学長

佐藤 文隆 京都大学 名誉教授

中西 重忠 (財)大阪バイオサイエンス研究所 所長

西川 伸一 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 副センター長

広中 平祐 京都大学 名誉教授

本庶 佑 京都大学 大学院医学研究科 特任教授

村上 正紀 学校法人立命館 副総長

[人文・社会科学系]

佐和 隆光 滋賀大学 学長

仙元 隆一郎 工業所有権法研究所 理事長

横山 俊夫 京都大学 人文科学研究所 教授

鷺田 清一 大谷大学 文学部 教授

## 3. 平成 25 年度研究助成に関する事項

### (1) 研究助成選考委員の決定

平成 24 年 3 月 16 日の定時理事会において、平成 25 年度研究助成選考委員を選任した。

## 4. 平成 23 年度特別助成に関する事項

### (1) 特別助成の交付

次の案件 1 件につき、特別助成審査委員会にて審議の上、平成 23 年 6 月 24 日開催の

定時理事会において決定した。この助成金は、平成 24 年 3 月 31 日までに対象者に交付された。

助成目的	申請者	助成金額 (円)
科学・技術フェスタ	内閣府 参事官 桑原 靖	1,000,000
合計：1 件		1,000,000

特別助成審査委員は、下記の通り。(役職は選任時現在)

榊 裕之 (委員長) 豊田工業大学 学長  
梶山 千里 福岡女子大学 理事長・学長  
広中 平祐 京都大学 名誉教授

## 5. 平成 24 年度特別助成に関する事項

### (1) 特別助成審査委員の決定

平成 24 年 3 月 16 日の定時理事会において、平成 24 年度特別助成審査委員を選任した。

## IV. 社会啓発事業

### 1. イナモリフェローの活動

#### (1) 2010 年度イナモリフェロー

##### ①後期研修への派遣

フェロー3名を、米国ワシントン D.C.の CSIS (戦略国際問題研究所) 内の教育研究機関「アブシャイア・イナモリ リーダーシップアカデミー(AILA)」の「AILA インターナショナル フェローシップ プログラム」後期研修に派遣した。

#### (2) 2011 年度イナモリフェロー

##### ①フェローの決定

フェローの公募を行い、書類選考、面接審査を経て、下記の3氏に決定した。

(肩書は決定時現在)

鈴木 晶子 京都大学 大学院教育学研究科 教授  
星野 俊也 大阪大学 大学院国際公共政策研究科 研究科長  
品川 直 京セラ株式会社 ファインセラミック事業本部  
FC 北米・アジア営業部責任者

##### ②前期研修への派遣

フェロー3名を、CSIS 内の「アブシャイア・イナモリ リーダーシップアカデミー(AILA)」の「AILA インターナショナル フェローシップ プログラム」前期研修に派遣した。

## 2. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」に関する活動

平成 23 年 9 月 7 日（水）、米国オハイオ州のケースウェスタンリザーブ大学で開催された、第 4 回(2011)稲盛倫理賞授賞式並びに関連行事の開催協力をはじめ、同センターの活動を支援した。

## 3. 国際相互理解の増進及び学術振興に寄与する活動

### (1) 米国京都賞受賞者シンポジウム共催大学への寄附

平成 23 年 4 月に調印した「京都賞受賞者シンポジウム共催大学との特別寄附金合意書」に基づき、第 1 回 20 万ドル（4 大学に対し各 5 万ドル）の寄附を実施した。  
（4 年間で 4 大学へ総額 80 万ドルを寄附予定）

### (2) 京都大学「こころの未来研究センター」への寄附

平成 20 年 6 月 6 日付「京都大学こころの未来研究センター寄附同意書」に関する覚書に基づき、第 4 回 1,500 万円の寄附を実施した。  
（4 年間で総額 6,000 万円を寄附）

## 4. 東日本大震災に関する活動

平成 23 年 7 月「稲盛財団 東日本大震災復興ボランティア助成」を実施し、被災地で活動するボランティア団体、グループに対し、全 66 件、総額 2,550 万円の助成を実施した。（1 件あたり 20 万円から 70 万円）

## V. その他の活動

### 1. 会議の開催状況

理事会、評議員会を下記の通り開催し、全ての議案が原案通りに承認された。

#### (1) 理事会

日 時 平成 23 年 5 月 9 日（月）  
議 案 ・ 公益財団法人稲盛財団 第 1 回定時評議員会開催の件

日 時 平成 23 年 6 月 7 日（火）  
議 案 ・ 平成 22 年度(2010)事業報告及び決算報告の件

日 時 平成 23 年 6 月 24 日（金）  
議 案 ・ 第 27 回(2011)京都賞受賞者承認の件  
・ 役付役員選任の件  
・ 京セラ株式会社第 57 期定時株主総会議決権行使の件  
・ 平成 23 年度(2011)助成事業特別助成対象者並びに助成金額承認の件  
報告事項 ・ サンディエゴでの第 10 回(2011)京都賞受賞者シンポジウムの件  
・ 稲盛財団「知のネットワーク」展開の件

- ・ケースウェスタンリザーブ大学「第4回稲盛倫理賞」受賞者決定の件
- ・主要日程の件

日 時 平成 24 年 2 月 1 日 (水)  
議 案 ・公益財団法人稲盛財団 評議員会開催の件

日 時 平成 24 年 3 月 16 日 (金)  
議 案 ・大阪大学で実施される新たな教育プログラムへの寄附の件  
・米国ケースウェスタンリザーブ大学への寄附の件  
・平成 24 年度(2012)助成事業研究助成対象者並びに助成金額承認の件  
・顕彰基金の名称及び資金使途変更の件  
・平成 24 年度(2012)事業計画及び収支予算の件  
・第 29 回(2013)京都賞授賞対象分野の件  
・第 29 回(2013)京都賞審査に係わる委員選任の件  
・平成 24 年度(2012)助成事業特別助成審査に係わる委員選任の件  
・平成 25 年度(2013)助成事業研究助成選考に係わる委員選任の件  
・東日本大震災復興ボランティアへの寄附の件  
・定時評議員会開催の件 (平成 24 年 6 月)

報告事項 ・特別顧問就任の件  
・第 28 回(2012)京都賞推薦状況報告の件  
・ケースウェスタンリザーブ大学「第4回稲盛倫理賞」受賞者決定の件  
・広報活動報告の件  
・主要日程の件

## (2) 評議員会

日 時 平成 23 年 6 月 24 日 (金)  
議 案 ・平成 22 年度(2010)事業報告及び決算報告の件  
・理事選任の件

報告事項 ・サンディエゴでの第 10 回(2011)京都賞受賞者シンポジウムの件  
・稲盛財団「知のネットワーク」展開の件  
・ケースウェスタンリザーブ大学「第4回稲盛倫理賞」受賞者決定の件  
・主要日程の件

日 時 平成 24 年 3 月 16 日 (金)  
議 案 ・定款変更の件 (第 20 条第 2 項)  
報告事項 ・特別顧問就任の件  
・第 28 回(2012)京都賞推薦状況報告の件  
・ケースウェスタンリザーブ大学「第4回稲盛倫理賞」受賞者決定の件  
・広報活動報告の件  
・主要日程の件

## 2. 委員会等の開催状況

### (1) 第27回(2011)京都賞の各委員会

開催日	名称	議題
H23. 4. 3	京都賞思想・芸術部門 第2回審査委員会	候補者審査
H23. 4. 23	京都賞委員会	各部門受賞者審査

### (2) 第28回(2012)京都賞及び平成24年度助成事業の各委員会

開催日	名称	議題
H23. 11. 11	京都賞審査機関合同委員会	審査基本方針決定
H23. 12. 3	研究助成選考委員会 自然科学系分科会	助成対象者選考
H23. 12. 10	研究助成選考委員会 人文・社会科学系分科会	助成対象者選考
H24. 1. 8	京都賞先端技術部門 第1回専門委員会	候補者審査
H24. 1. 9	京都賞基礎科学部門 第1回専門委員会	候補者審査
H24. 1. 21	京都賞思想・芸術部門 第1回専門委員会	候補者審査
H24. 1. 22	京都賞先端技術部門 第2回専門委員会	候補者審査
H24. 1. 28	京都賞基礎科学部門 第2回専門委員会	候補者審査
H24. 2. 4	京都賞思想・芸術部門 第2回専門委員会	候補者審査
H24. 2. 5	京都賞先端技術部門 第3回専門委員会	候補者審査
H24. 2. 12	京都賞基礎科学部門 第3回専門委員会	候補者審査
H24. 2. 18	京都賞思想・芸術部門 第3回専門委員会	候補者審査
H24. 2. 19	京都賞先端技術部門 第4回専門委員会	候補者審査
H24. 2. 25	京都賞基礎科学部門 第4回専門委員会	候補者審査
H24. 3. 3	京都賞思想・芸術部門 第4回専門委員会	候補者審査
H24. 3. 11	京都賞基礎科学部門 第1回審査委員会	候補者審査
H24. 3. 17	京都賞基礎科学部門 第1回審査委員会	候補者審査
H24. 3. 18	京都賞思想・芸術部門 第1回審査委員会	候補者審査
H24. 3. 25	京都賞先端技術部門 第2回審査委員会	候補者審査
H24. 3. 31	京都賞基礎科学部門 第2回審査委員会	候補者審査
※以下は平成24年度に実施		
H24. 4. 1	京都賞思想・芸術部門 第2回審査委員会	候補者審査
H24. 4. 15	京都賞委員会	各部門受賞者審査

## 3. 広報活動

### (1) 記者発表の実施

実施日	内容	場所
H23. 4. 1	2011年京都賞シンポジウム開催概要／ 「第4回稲盛倫理賞」受賞者発表：資料配布	関係記者クラブ
H23. 4. 11	平成23年度助成金贈呈式及び第15回盛和スカラース ンサエティ総会取材要項：資料配布	関係記者クラブ

H23. 6. 15	第 27 回京都賞受賞者発表記者会見案内：資料配布	関係記者クラブ
H23. 6. 24	第 27 回京都賞受賞者発表：記者会見 (インターネット中継による玉三郎丈の会見を含む)	京都大学 稲盛財団記念館
H23. 6. 29	東日本大震災 復興ボランティア活動支援について： 資料配布	関係記者クラブ
H23. 8. 26	東日本大震災 復興ボランティア助成先決定について： 資料配布	関係記者クラブ
H23. 9. 26	第 27 回京都賞ウイーク行事概要：資料配布	関係記者クラブ
H23. 10. 12	第 27 回京都賞青少年育成プログラム概要：資料配布	関係記者クラブ
H23. 11. 4	第 27 回京都賞ウイーク取材要項：資料配布	関係記者クラブ
H23. 11. 10	第 27 回京都賞受賞者共同記者会見	国立京都国際会館
H24. 2. 1	2012 年イナモリフェロー募集：資料配布	関係記者クラブ
H24. 2. 23	「大阪大学 稲盛財団寄附講座」寄附金贈呈式開催案内： 資料配布	関係記者クラブ
H24. 3. 9	「第 5 回稲盛倫理賞」受賞者発表：資料配布	関係記者クラブ
H24. 3. 15	2012 年京都賞シンポジウム開催概要：資料配布	関係記者クラブ
H24. 3. 19	平成 24 年度研究助成対象者発表：資料配布	関係記者クラブ

## (2) 刊行物の発行

下記の刊行物を発行し、関係先に配布した。

発行日	内容	発行部数
H23. 5	稲盛財団ニュース 74 号	2, 100 部
H23. 7	稲盛財団 2010 第 26 回京都賞と助成金	700 部
H23. 7	稲盛財団ニュース 75 号	2, 600 部
H23. 8	盛和スカラーズソサエティ会報 15 号	1, 200 部
H23. 8	The Inamori Foundation Newsletter 27 号	1, 400 部
H24. 1	稲盛財団ニュース 76 号	3, 300 部
H24. 2	The Inamori Foundation Newsletter 28 号	1, 400 部

## (3) 電子メールニュースの配信

国内外のメールニュース登録者約 4, 100 名（平成 24 年 3 月時点）に対し、電子メールニュースを計 17 回配信した。

## (4) ウェブサイトの運営

「稲盛財団ホームページ」以外に、下記 2 つのウェブサイトインターネット上に新たに公開し、財団に関する情報を発信した。

- ・「e Museum」 歴代受賞者のメッセージ（動画）、受賞時の講演原稿等の紹介
- ・「京都賞紹介サイト」 京都賞の映像、写真等の紹介

## (5) 「科学・技術フェスタ in 京都 2011」への出展

平成 23 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）、国立京都国際会館で開催された「科学・技術フェスタ in 京都 2011」（主催 内閣府など）に出展し、京都賞の映像紹介を



はじめ、京都賞ウィークに実施している青少年育成プログラムを紹介するパネル展示などを行った。このフェスタには延べ約 5,000 人の方々が来場した。

#### 4. 理事、監事、評議員等の選任及び異動

##### (1) 理事・監事の選任

平成 23 年 6 月 24 日開催の定時評議員会において、以下の通り理事・監事の選任を行った。  
(役職は選任時現在)

理事	甘利 俊一	理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問
〃	安藤 忠雄	建築家
〃	伊藤 謙介	京セラ(株) 相談役
〃	稲盛 和夫	京セラ(株) 名誉会長
〃	稲盛 豊実	ケイアイ興産(株) 代表取締役
〃	井村 裕夫	京都大学 名誉教授
〃	梅原 猛	国際日本文化研究センター 顧問
〃	柏原 康夫	(株)京都銀行 代表取締役会長
〃	金澤 しのぶ	
〃	木越 清彦	公益財団法人稲盛財団 広報渉外担当
〃	忽那 武範	公益財団法人稲盛財団 事務局長
〃	千 宗室	茶道裏千家 家元
〃	仙元 隆一郎	工業所有権法研究所 理事長
〃	高階 秀爾	大原美術館 館長
〃	中西 重忠	(財)大阪バイオサイエンス研究所 所長
〃	永守 重信	日本電産(株) 代表取締役社長
〃	永易 克典	(株)三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 取締役社長
〃	野依 良治	理化学研究所 理事長
〃	広中 平祐	京都大学 名誉教授
〃	福川 伸次	元通商産業省 事務次官
〃	本庶 佑	内閣府総合科学技術会議 議員
〃	本田 勝彦	日本たばこ産業(株) 相談役
〃	松本 正之	日本放送協会 会長
監事	大田 嘉仁	京セラ(株) 取締役執行役員常務
〃	田村 浩	税理士

##### (2) 役付役員の選任

平成 23 年 6 月 24 日開催の定時評議員会において、以下の通り役付役員の選任を行った。  
(役職は選任時現在)

代表理事(理事長)	稲盛 和夫	京セラ(株) 名誉会長
業務執行理事(専務理事)	稲盛 豊実	ケイアイ興産(株) 代表取締役
会長	井村 裕夫	京都大学 名誉教授
副理事長	福川 伸次	元通商産業省 事務次官

## 【別表1】

## 平成23年度研究助成対象者並びに研究題目

100万円/件（役職は贈呈時現在）

	氏名・所属先	研究題目
自然科学系	東京大学 大学院工学系研究科 講師 五十嵐 浩司	光電界複素振幅の超高速実時間測定技術と光波のファイバ伝送の極限性能の解明
	北海道大学 大学院獣医学研究科 助教 市居 修	慢性腎臓病における上皮脱落機構 (Luminal Epithelial Deciduation)の解明
	京都大学 大学院理学研究科 准教授 市野 篤史	表現論と数論的不変量
	富山大学 大学院理工学研究部 准教授 上田 肇一	解構造解析による運動制御則の 自己組織的生成アルゴリズムの開発
	京都大学 生存圏研究所 助教 上田 義勝	R型二酸化マンガン電解質を用いた プロトン導電型ガスセンサの開発
	京都大学 大学院工学研究科 准教授 植村 卓史	光導電性高分子の孤立配向化および 本質的な伝導機構の解明
	岡山大学 大学院自然科学研究科 准教授 大久保 貴広	ナノカーボン表面の化学状態制御による 重金属イオン吸着材料の開発
	東京工業大学 応用セラミックス研究所 特任助教 勝又 健一	特異ナノカーボンを用いた高効率水素生成材料の創製
	東京大学 大学院理学系研究科 准教授 狩野 直和	二酸化炭素の固定化を目指した超電子供与性配位子を 有する遷移金属錯体の合成の研究
	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 特任准教授 北野 潤	種分化遺伝子の同定
	甲南大学 理工学部 講師 久原 篤	温度感覚の感度調節に関わる分子機構の解析
	北海道大学 大学院工学研究院 助教 島 弘幸	ピーナッツ型フラーレン重合体が示す 異常な光励起キャリア緩和の機構解明
	京都大学 学際融合教育研究推進センター 特定助教 申 恵媛	生体膜の非対称性を制御するフリッパーゼの 細胞内小胞輸送における機能解析
	東京大学 大学院理学系研究科 助教 角野 浩史	極微量ハロゲンおよび希ガスの元素・同位体組成を 指標とした、マントルにおける水の循環過程の解明
	京都大学 大学院薬学研究科 特定助教 高橋 清大 (平成23年度伯楽)	ウイルスセンサーRIG-Iの活性化機構の解明
	大阪大学 大学院理学研究科 助教 高橋 達郎	クロマチン形成反応とDNAミスマッチ修復の 新たな機能的相互作用
	奈良県立医科大学 先端医学研究機構 助教 高橋 弘雄	哺乳類嗅覚によるCO <sub>2</sub> 感知機構の解析
	東京大学 分子細胞生物学研究所 准教授 竹内 純	心臓前駆・幹細胞群の未分化状態制御因子

	氏名・所属先	研究題目
自然科学系	京都大学 防災研究所 准教授 竹見 哲也	気象解析・流体解析融合モデルによる 大都市における微細規模風速変動の解析
	慶應義塾大学 理工学部 専任講師 田邊 孝純	シリカ材料による光カー効果を利用した超低パワー 駆動可能な微小光共振器型全光スイッチ素子の開発
	大阪大学 産業科学研究所 准教授 谷口 正輝	エピジェノム診断のコア技術開発
	東京農工大学 大学院工学研究院 講師 富永 洋一	様々な側鎖構造を有する二酸化炭素/エポキシド 共重合体の合成とイオン伝導性材料への応用
	弘前大学 農学生命科学部 助教 鳥丸 猛	雌雄異株性の植物個体群性比を決定する 生態遺伝学的要因の解明
	京都大学 大学院薬学研究科 准教授 中野 実	時分割中性子散乱法を用いた 脂質輸送促進メカニズムの解明
	名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授 中山 将伸	リチウムイオン導電性オリビン型酸化物材料の探索： 第一原理計算による物性推測とライブラリーの構築
	徳島大学 疾患ゲノム研究センター 講師 新田 剛	胸腺上皮細胞の分子理解にもとづく T細胞レパトリー制御
	山梨大学 大学院医学工学総合研究部 准教授 野田 悟子	環境微生物の遺伝子重複と表現型進化
	大阪大学 大学院工学研究科 准教授 萩原 幸司	カルシウム基金属間化合物による、 新しい観点からの生体内溶解性インプラント材料開発
	物質・材料研究機構 ナノ材料科学環境拠点 研究員 橋本 綾子	透過型電子顕微鏡を用いた三次元イメージングのための 画像処理の開発とその応用
	物質・材料研究機構 極限計測ユニット 主任研究員 Anirban Bandyopadhyay	細胞中で動作するナノマシンの実現
	大阪大学 大学院理学研究科 准教授 廣野 哲朗	巨大地震発生時に断層で生じている 物理化学的素過程の解明
	東北大学 多元物質科学研究所 助教 藤枝 俊	複合部分置換による遍歴電子メタ磁性転移の制御と 高性能磁気冷凍材料への応用
	京都大学 化学研究所 助教 正井 博和	スズ含有低融点ガラスの発光材料への応用に関する研究
	九州大学 大学院工学研究院 准教授 松野 寿生	水界面における高分子鎖膨潤構造の解析に基づく 生体適合性発現機構の解明
	京都大学 エネルギー理工学研究所 助教 宮地 悟代	位相を安定化した高強度フェムト秒レーザーによる ナノ加工に関する研究
岩手大学 工学部 准教授 三好 扶	微小重力空間内飛行を可能とする可変弾性機構による 飛翔昆虫型ロボットの開発	

	氏名・所属先	研究題目
自然科学系	北海道大学 大学院工学研究院 准教授 本橋 輝樹	マンガン系酸素貯蔵材料の微細組織制御による高性能化とその応用展開
	京都大学 大学院工学研究科 講師 森崎 泰弘	多孔性共役系ネットワーク高分子材料の創出
	九州大学 大学院工学研究院 准教授 安田 琢麿	ドナー・アクセプター機能集積化に基づくナノ構造液晶半導体の創出
	大阪大学 大学院理学研究科 助教 藪田 ひかる	宇宙塵氷マントルへの円偏光軟X線照射により生成するヒドロキシ酸とその分子左右非対称性の実験的研究
		小計 40件
人文・社会科学系	京都大学 大学院経済学研究科 教授 依田 高典	ライフ・イノベーションの社会的受容に関する計量経済学的研究：iPS細胞を事例に
	千葉大学 大学院専門法務研究科 准教授 北村 賢哲	弁護士費用敗訴者負担の基礎的考察
	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 佐藤 光 (平成23年度伯楽)	多文化共生の哲学を探究した人々 －大正期の柳宗悦とウィリアム・ブレイクを考える
	東京大学 サステナビリティ学連携研究機構 特任講師 竹下 貴之	運輸部門の低炭素化に向けた各種経済的措置の制度設計及び最適統合に関する研究
	慶應義塾大学 商学部 教授 段 瑞聡	太平洋戦争期における蒋介石の戦後構想 －『蒋介石日記』からのアプローチ
	名古屋市立大学 大学院人間文化研究科 准教授 浜本 篤史	高度成長の日中比較社会論：五輪および万博開催期における「公共空間のマナー」に関する分析
	同志社大学 社会学部 教授 藤本 昌代	科学技術系専門職の転職行動および就業観に対する社会的流動性の影響 一日・米・仏比較
	大阪教育大学 教育学部 准教授 馬 暁華	アジア太平洋地域における信頼醸成の再構築：グローバリゼーションの中の日米中三国間の知的対話の模索
	山形大学 人文学部 講師 丸山 政己	国連安全保障理事会と国際刑事裁判所の関係 －平和と正義の両立に向けて－
	広島大学 大学院工学研究院 助教 水田 丞	十九世紀イギリス植民都市におけるインフラストラクチャとその計画意図の解明
京都大学 大学院法学研究科 教授 安田 拓人 (平成22年度伯楽)	脳科学・神経科学の挑戦と自由意思に基づく責任刑法の将来	
		小計 11件
		合計 51件

## 【別表2】

## 平成24年度研究助成対象者並びに研究題目

100万円/件（役職は承認時現在）

	氏名・所属先	研究題目
自然科学系	九州大学 生体防御医学研究所 准教授 石谷 太	<i>in vivo</i> イメージングを用いた Wnt/ $\beta$ カテニンシグナルの機能と制御の解析
	神戸大学 大学院医学研究科 特命助教 植村 明嘉	低分子量G蛋白質RhoJによる血管内皮細胞運動の 制御機構の解明
	慶應義塾大学 理工学部 准教授 荻原 直道	ニホンザルの二足歩行から探るヒトの直立二足歩行の 起源と進化
	九州大学 大学院医学研究院 助教 奥野 利明	新規脂質メディエーター12-HHTの抗炎症作用
	京都大学 物質-細胞統合システム拠点 特定助教 Peter Carlton	超解像度顕微鏡を用いたヒトiPS細胞における エピジェネティック修飾の1細胞解析学
	慶應義塾大学 医学部 助教 掛川 渉	記憶・学習を担う脳神経回路の発達加齢変化 -新規D-セリンシグナリングの解明と制御
	東京大学 分子細胞生物学研究所 講師 川崎 善博	大腸癌発症におけるc-Myc標的mRNA型ncRNAの 機能解析
	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 助教 北野 健	老化原因のDNA構造をほどく遺伝病タンパク質の 新規ドメイン構造解析
	京都大学 大学院薬学研究科 助教 木村 郁夫	短鎖脂肪酸受容体と生活習慣病： 腸内細菌を介した食事性栄養認識受容体による エネルギー調節機構の解明
	理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター チームリーダー 倉永 英里奈	生体レベルにおける集団細胞移動メカニズムの解明
	福井大学 大学院工学研究科 准教授 小西 慶幸	神経細胞の形態維持に関わる 新規細胞内システムの解明
	東北大学 大学院理学研究科 准教授 小林 真一	保型表現と岩澤主予想
	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教 小柳 潤	高効率長寿命メカニカルバッテリーの創製
	広島大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 齋藤 敦	小胞体を起点とした生体機能制御機構の全貌解明
	大阪大学 大学院工学研究科 准教授 齋藤 結花	液中の3次元ナノスケールを見る光学顕微鏡の開発
	東京学芸大学 教育学部 准教授 佐藤 たまき	北海道の白亜系から産出する首長竜化石の記載・ 系統分類学と野外調査
	東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授 下山 裕介	二酸化炭素中における溶媒蒸発の制御により作製した 薄膜ドラッグデリバリーにおける 医薬物質の溶解挙動の解明
九州大学 生体防御医学研究所 准教授 鈴木 淳史	皮膚細胞から肝細胞への運命転換機構の解析	

	氏名・所属先	研究題目
自然科学系	京都大学 大学院薬学研究科 特定助教 高橋 清大 (平成23年度伯楽対象者)	ウイルスセンサーRIG-Iの活性化機構の解明
	大阪大学 大学院理学研究科 助教 田中 啓文	有機ナノ粒子吸着によるグラフェンナノリボンの電気特性制御への挑戦
	長岡技術科学大学 産学融合トップランナー養成センター 産学融合特任准教授 築地 真也	生命科学と創薬の新基盤となる 細胞内蛋白質化学標識技術の確立
	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 助教 寺田 佳世	アミノ基含有らせんポリアセチレンの 温度応答性二次構造変化と遺伝子キャリアへの展開
	富山大学 先端ライフサイエンス研究拠点 特命助教 中川 崇	老化関連分子Sirtuinによる新規代謝産物 O-acetyl-ADP-Riboseの生理活性の解析
	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 准教授 長里 千香子	多細胞体制を支える褐藻類の細胞間マトリックスの 構造と機能
	電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授 奈良 高明	てんかん病巣部検出に向けた 脳回の神経電流源再構成逆問題に対する代数解法
	群馬大学 大学院工学研究科 助教 浜名 誠	依存型による安心・安全・高信頼ソフトウェアの 基礎理論
	鳥取大学 地域学部 准教授 平田 佐和子	ベトナムE-wasteリサイクル地域における ヒトへの重金属暴露実態と健康影響評価
	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 准教授 平山 順	活性酸素シグナルによる概日リズム制御の 分子機構の解明
	静岡大学 工学部 助教 藤井 朋之	構造材料の応力腐食割れメカニズムの解明と 環境耐性材料設計指針
	大阪府立大学 21世紀科学研究機構 特別講師 牧浦 理恵	金属錯体の3次元配列制御による 高効率光電変換ナノ材料の創製
	電気通信大学 先端領域教育研究センター 特任助教 松浦 基晴	半導体量子ドット技術による 高性能光信号処理技術の研究
	名古屋大学 大学院理学研究科 准教授 松浦 能行	核-細胞質間高分子輸送制御による 生理機能調節機構の構造生物学的研究
	札幌医科大学 医学部 助教 丸山 玲緒	t(4:14)転座を有する骨髄腫症例における ヒストン修飾異常の網羅的解析
	筑波大学 大学院生命環境科学研究科 助教 三浦 謙治	SUMO化E3酵素SIZ1における植物特有 PHDドメインを介したエピジェネティック制御
	東京大学 大学院総合文化研究科 助教 森長 真一	変動環境下における植物集団の進化的応答の ゲノム基盤
筑波大学 大学院生命環境科学研究科 助教 谷口 俊介	ウニ胚前端部に存在する不動繊毛の機能と 形成メカニズム	

	氏名・所属先	研究題目
自然科学系	京都大学 大学院理学研究科 准教授 矢野 孝次	マルコフ連鎖の流れおよび情報系の理論の展開とその応用
	立命館大学 情報理工学部 教授 山下 茂	必要最小限の機能の書き換えが可能な回路において設計仕様を効率的に変更するための設計理論の確立
	京都大学 大学院理学研究科 助教 山下 穰	極低温における量子スピン液体状態相近傍の量子臨界点の探索
	京都大学 大学院理学研究科 助教 山田 鉄兵	配位高分子による新規固体酸の創成と応用展開
	九州大学 大学院理学研究院 助教 山脇 兆史	無脊椎動物における行動企画の神経基盤： 何をいつ行うべきか？
		小計 41件
人文・社会科学系	神戸大学 大学院人文学研究科 准教授 伊藤 隆郎	ポスト・モンゴル期西アジアの国際関係に関する基礎的研究： マムルーク朝・ティムール朝関係を中心に
	東北大学 大学院環境科学研究科 助手 枝村 一磨	有害物質の排出を考慮した生産関数の推計
	愛媛大学 法文学部 准教授 胡 光	四国八十八ヶ所の成立と発展
	関西大学 法学部 教授 大津留 智恵子	アメリカ外交が産んだ難民と受け入れ社会の確執
	京都大学 次世代研究者育成センター 特定助教 川名 雄一郎	十九世紀イギリスにおける性格の科学の歴史的意義
	名古屋大学 高等研究院 特任准教授 蔡 大鵬	突発的なネガティブショック発生時の、公的資金の注入による企業への最適な救済策と国際協調の在り方
	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 佐藤 光 (平成23年度伯楽対象者)	多文化共生の哲学を探究した人々 —大正期の柳宗悦とウィリアム・ブレイクを考える
	京都大学 アフリカ地域研究資料センター 准教授 高田 明	サヴァンナの視覚文化： サン社会におけるジェスチャー・コミュニケーションに関する人類学的研究
	立命館大学 文学部 准教授 長澤 麻子	公共圏における「美」の機能： ドイツ・ワイマール時代における新聞文芸欄を中心に
	九州大学 大学院法学研究院 准教授 原田 大樹	グローバルな政策実現過程の成立条件と主権国家の統治機構への影響 —原子力安全分野を素材として
日本大学 生物資源科学部 教授 横山 安紀子	言語コミュニケーションにおける 「音韻象徴性」の効果：異感覚実験とその分析から	
		小計 11件
		合計 52件